

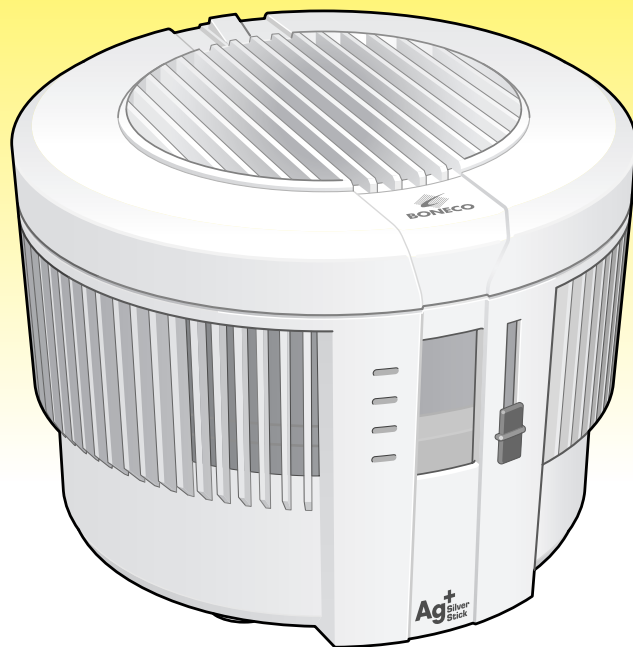
ボネコ
気化式加湿器

Mod.1359S

取扱説明書

Swiss Quality

この製品は、スイス・プラストン社により同社チェコ工場
で製造されたものです。



特長

■ 自然な加湿——気化式

お部屋（空気）の乾燥具合に応じて適度の加湿を行いますので、加湿し過ぎることがありません。また、水をそのまま散布しないので、カルキ等で家具を傷める心配がありません。

■ お手入れが簡単

本体構造が上部開放型のため、フタを取るだけでお手入れや消耗品の交換が楽にできます。

■ 一日中（24時間）運転して、8.4円

送風用モーターの消費電力は16W。1日稼働しても8.4円と、とても経済的です（1kW/h=22円として算出した場合）。

■ 24畳までOK

適用スペースは、最大24畳のお部屋までご利用になれます。

■ 安心の抗菌システム『Ag⁺』

加湿ユニット内にセットされたシルバースティックの抗菌作用により、水中の雑菌の繁殖を抑えます。また、放出される霧状の水分粒子は非常に小さいので、雑菌が水分粒子に取り込まれてお部屋に放出されることはありません。

このたびは、ボネコ気化式加湿器をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全に使っていただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1～2
知っておいていただきたいこと	3～4
各部の名称とはたらき	5
使用手順	6～7
お手入れのしかた	8～10
仕様	10
アフターサービスについて	裏表紙

安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制または指示」をうながす絵表示が付いています。



発火注意



感電注意



高温注意



禁止行為



分解禁止



強制／指示



プラグをコンセントから抜く

電源について

警告

- 電源は、「15A 125V」と記されているコンセントから直接とる
それ以外のコンセントから電源をとると、火災や感電の原因となります。

15A 125V



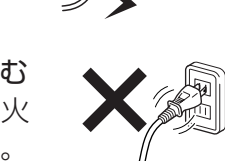
- 電源は、家庭用交流100V／50・60Hzで使用する
それ以外で使用する、火災や感電の原因となります。



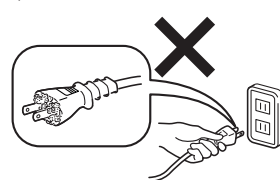
プラグについて

警告

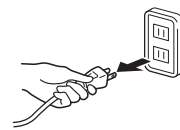
- 濡れた手でプラグを抜き差ししない
感電の原因となります。
- プラグを持って抜き差しする
電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。電源コードを持って抜き差しすると、火災や感電の原因となります。
- プラグはしっかりと差し込む
しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因となります。



- コンセントの差込み口やプラグに付いたゴミ、ほこりは取り除く
ゴミやほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因となります。定期的に取り除いてください。



- 使用時以外はプラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。



電源コードおよびコンセントについて

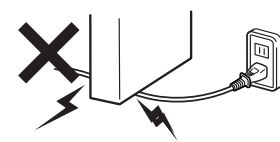
警告

- 破損した電源コードやプラグ、コンセントは使用しない
● 電源コードやプラグが破損していたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因となります。お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。
- 使用中、電源コードやプラグが異常に熱くなる場合は、ただちに使用を中止してプ



ラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。

- 電源コードやプラグを乱雑に扱わない
電源コードやプラグを無理に曲げる、物をのせる、傷を付ける、熱に近づける、引っばる、ねじる、束ねるなどしないように、ていねいに扱ってください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。



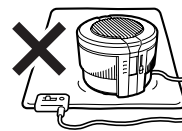
使用場所について

⚠ 警告

- 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所やペットの近くで使用しない
けがや感電をする危険があります。



- テレビ、ステレオ、ホットカーペットなど、電気製品の上で使用しない
水がこぼれると故障や感電の危険があります。



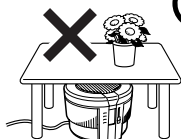
使用場所について

⚠ 注意

- 平らで安定のよい場所に置いて使用する
不安定な場所に置くと、本製品が転倒し、けがや故障の原因となります。



- 送風孔をふさがない
テーブルや机の下に置くと送風孔をふさがれ、風（湿った空気）が部屋中に行き渡りません。



- ストーブなどの暖房器と併用するときは、離して置く
故障の原因となります。



- 就寝時に使用するときには、風が身体に直接当たらない場所に置く
身体が冷え過ぎて体調を損なう原因となります。



使用上のご注意

⚠ 注意

- 本製品を、他の用途や屋外で使わない
この製品は、室内用の加湿器です。他の目的や屋外で使用すると、けがや故障の原因となります。



- 送風孔から絶対に給水しない
故障や感電の原因となります。



- 本製品に腰掛けたり、物を乗せない
けがや故障の原因となります。



- タンクには水道水を入れる
断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水などを使用すると、故障の原因となります。



- 運転中、送風孔および空気吸込み口のスキ間から指や異物を入れない
けがや故障の原因になります。



お手入れについて

⚠ 警告

- 改造や分解、修理をしない
感電やけがの原因となります。修理は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。



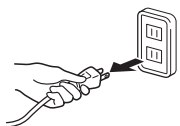
- 本体や電源コード、プラグを水に浸けたり、水洗いしない
故障や感電の危険があります。



お手入れについて

⚠ 注意

- お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く
本製品が転倒して、けがをする危険があります。



- 一週間以上使用しない場合は、必ずタンクの水を捨てる
水が入ったまま放置しておくと、異臭の原因となります。



- シルバースティックの変色部分を紙ヤスリや金ブラシでこすらない
抗菌効果が損なわれる原因となります。



- お手入れ後は、各部品をよく乾かしてから取り付ける
各部品が乾いていない状態で組み立てると、故障の原因となります。



知っておいていただきたいこと

加湿の仕組みと主な特長をご理解いただき、本製品をより効果的にご使用ください。

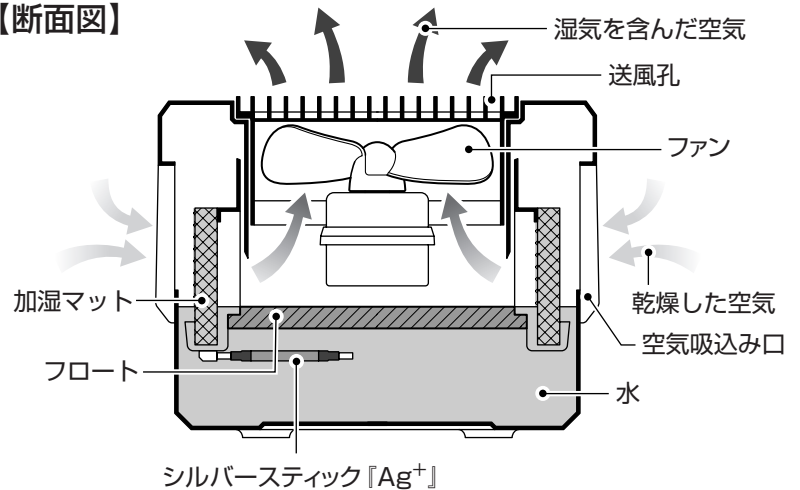
加湿は“気化式”です

「湯気」や「霧」を強制的に発生させるものではなく、お部屋（空気）の乾燥具合に応じて自然に加湿する＝気化原理に基づいた“気化式”の加湿器です。

加湿マット（表面に塗布したコットン）が、毛細管現象によりタンクの水を吸い上げます。電源スイッチを入れるとファンが回転し、室内の乾いた空気を吸い込み、加湿マットを通過した空気が湿気を含み、送風孔から放出されます。この時、蒸気とは異なり、加湿状態は目には見えません。

※使用中のマットは、上1/3が気化のために乾燥しています。

【断面図】



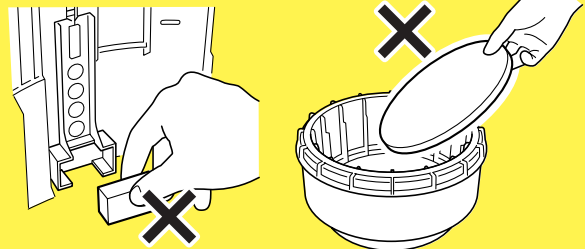
電化製品や家具を傷つけません

本機は気化式なので、水道水に含まれるカルキ分などを放出せず、テレビ/パソコンの液晶画面や家具などを傷つける心配がありません。

⚠️ ご注意

水位計の浮きおよびフロートを捨てないでください

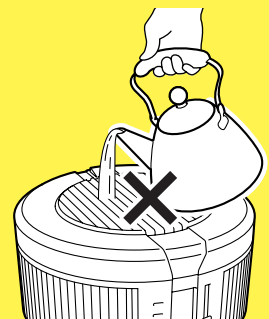
水位計の裏側にはめ込まれている四角い発泡スチロール(＝浮き)と加湿ユニット底のフロート(円盤)は、梱包用のクッションではありません。取り出して、捨てないでください。



⚠️ ご注意

送風孔からは、絶対に注水しないでください

送風孔の下にモーターファンがありますので、送風孔から注水することは絶対にお止めください。モーター故障の原因になります。注水は、必ず給水窓から行ってください。



⚠️ ご注意

就寝時のご使用について

送風孔から出る湿気を含んだ風は、気化作用のために室温より多少低くなります。寝室で使用する際は、風が体に直接当たらないように離してください。※ファンの音が気になる場合は、足元の方に離して置いてください。

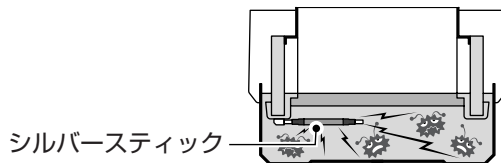
知っておいていただきたいこと(続き)

抗菌システムを採用しています『Ag⁺』

加湿ユニットにシルバースティックを設置し、銀イオンの持つ抗菌作用で水中の雑菌の繁殖を抑えます。

シルバースティックの抗菌性能試験結果(財団法人 北里環境科学センター調べ)

試験菌名	不活性化効率
レジオネラ菌	99.5%
インフルエンザウィルス	99.6%



“省エネ”設計です

水を気化するには“気化原理”を利用しますので、必要なエネルギー(消費電力)は、送風用モーター(16W)だけです。従来のスチーム式加湿器(消費電力250~350W)と比較すると約1/15以下の電力です。

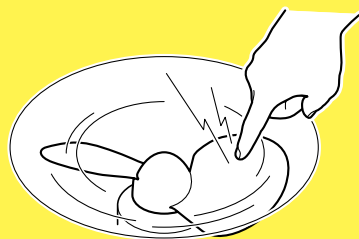
安全設計です

スチーム式加湿器のように熱い蒸気を発生しませんので、やけどの心配がありません。また、本体に空気を吸い込むためのファン(羽根)は、フタを外さない限り触ることができません。

⚠️ ご注意

誤って回転中のファンに触れた場合

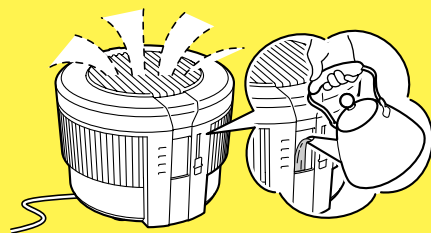
運転中、送風孔のすき間に指や異物を差し込まないでください。ファンはプラスチック製ですが、触れてけがをすることがあります。また、無理にファンの回転を止めると、モーター軸のずれや、モーターの加熱原因になります。



⚠️ ご注意

水が無くなった状態で運転した場合

知らずに運転を続けても、事故や故障の原因にはなりません。送風だけの運転は、加湿の効果がなくなります。運転中は、ときどき水位をチェックして、タンクに給水してください。



別売品のお求めについて

本製品購入販売店、または弊社サービスセンター(裏表紙参照)にてお求めください。

●シルバースティック

シルバースティックの寿命は5~6年(目安)です。汚れ等が気になる方は、新しいものと交換してください。

型番 Mod.PL-SMS

価格 3,360円(税込み・送料別途)

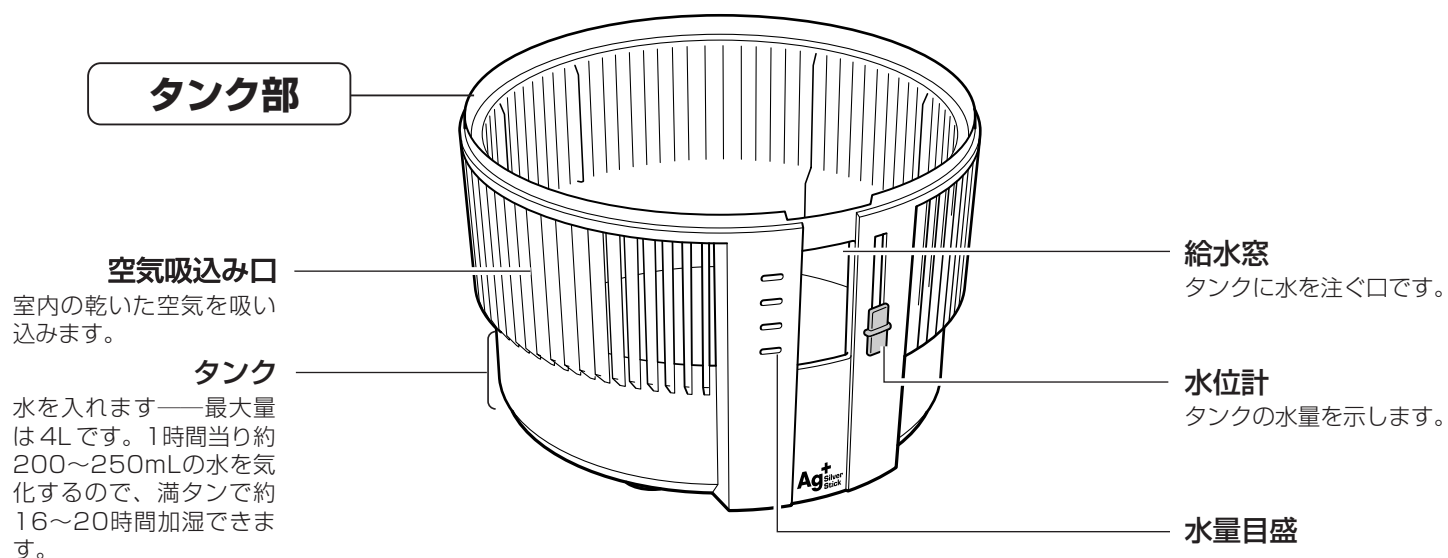
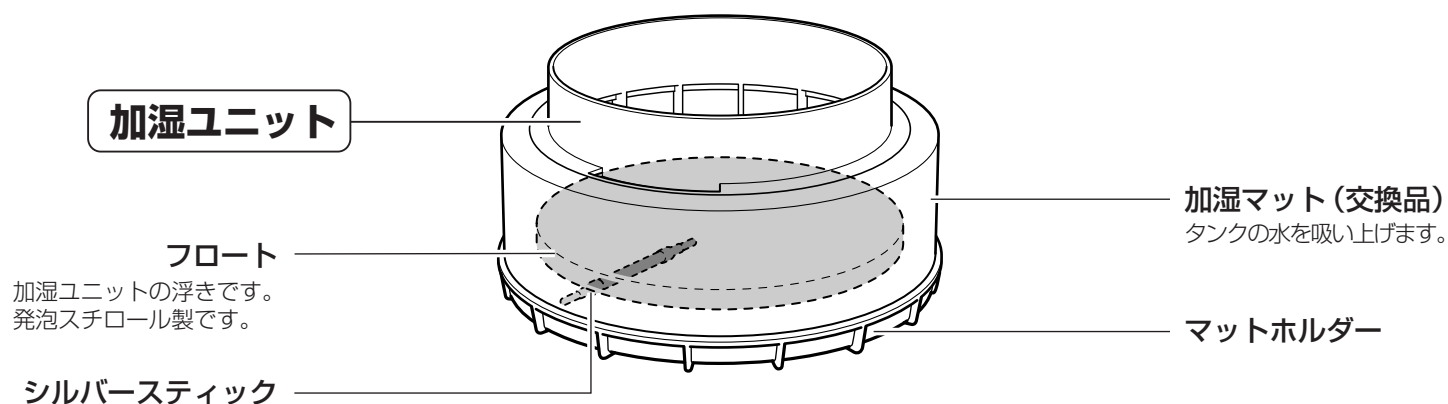
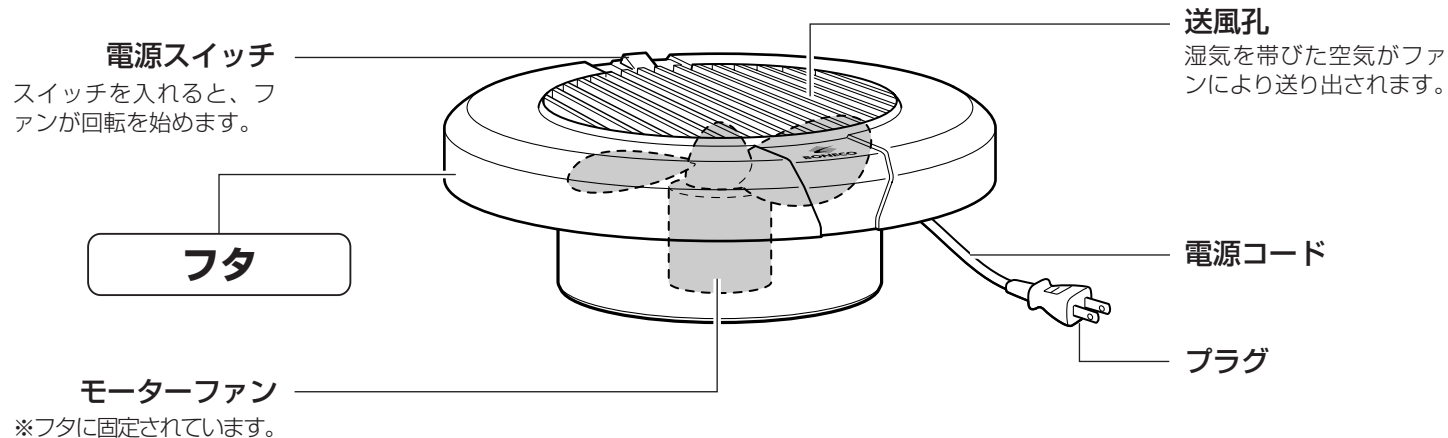
●ボネコ気化式加湿器1359用 加湿マット

型番 Mod.1359FIL

価格 1枚:2,100円(税込み・送料別途)

必ず純正品をご使用ください。指定以外のものは、性能/品質を保証できませんので、使用しないでください。

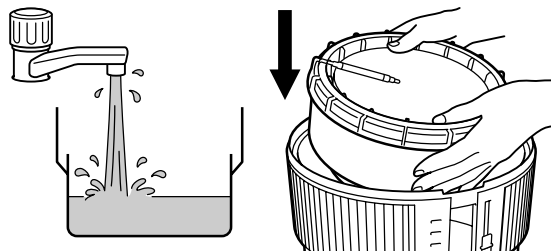
各部の名称とはたらき



使用手順

1 加湿マットを濡らす

フタと加湿ユニットを外し、タンクに半分ほど水を入れます。そこに加湿ユニットを運転時とは逆さまの状態に浸け、加湿マットを濡らします。

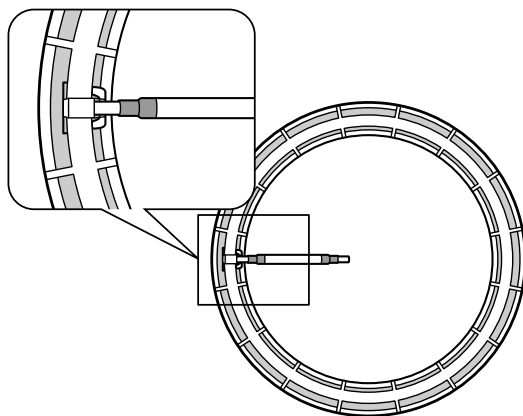


2 シルバースティックの設置を確認する

加湿ユニットの裏側に、シルバースティックがきちんと設置されていることを確認します。シルバースティックは、マットホルダーの縁にしっかりと固定してください。

⚠ ご注意

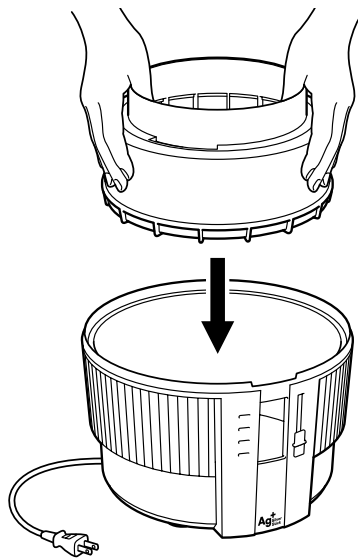
シルバースティックの変色は、問題ありません。銀の特性でメッシュ部分がやや黒ずむ場合がありますが、性能／機能的に問題はありませんので、安心してご使用ください。



※真上から見た図

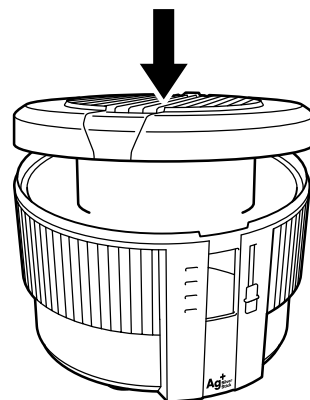
3 加湿ユニットをセットする

加湿マットが十分に湿ったら、今度は加湿ユニットを正しく（フロートが底になる）タンク部にセットします。



4 フタを取り付ける

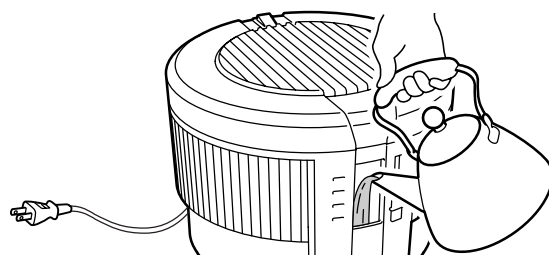
タンクにフタを取り付けます。モーターファンが付いているので、多少、重量があります。取り扱いには十分ご注意ください。



使用手順（続き）

5 給水する

水位計が水量目盛の最上部を指すまで、給水窓から給水します。それ以上入れると水があふれるので、ご注意ください。



⚠️ ご注意

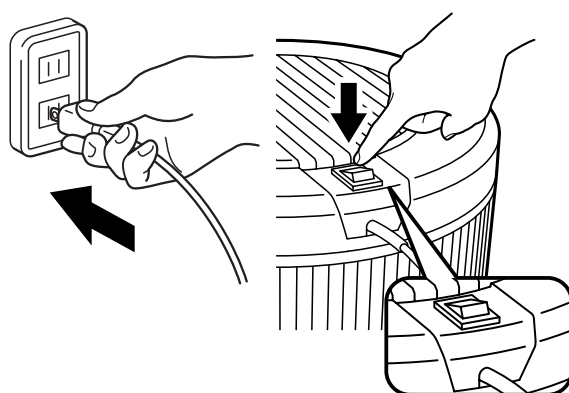
水に芳香剤（アロマオイル等）を直接混ぜたり、断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水は使わないでください。製品（材質）が変色／変質し、故障の原因になります。
浄水器でろ過した水や、アルカリイオン水も使用できます。

6 スイッチを入れる（運転開始）

フタをして、プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。スイッチのONを押してください。ファンが回り、加湿を始めます。

※本製品は気化式のため、加湿の状態を目で見ることはできません（3ページの“気化式”の説明を参照ください）。

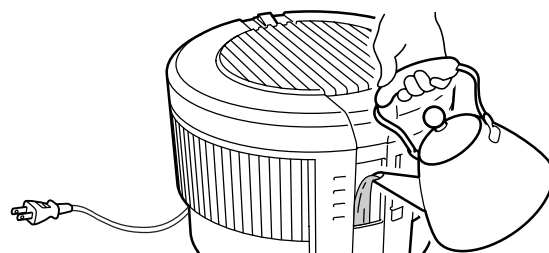
※ゆるやかな加湿を行うため、お部屋全体が十分加湿されるまでに約1時間かかります。



7 水を補充する

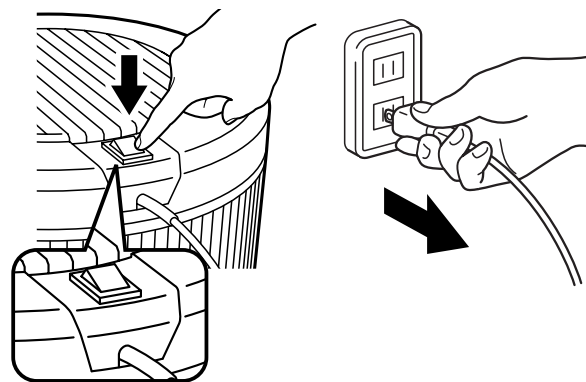
使用中はタンクの水量をチェックし、少なくなったら給水してください（給水する時は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください）。

※1時間当たり約200～250mlの水を気化しますので、満タン(4L)で約16～20時間運転できます。



8 スイッチを切る（運転停止）

電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜きます。



⚠️ ご注意

一週間以上使用しない場合は、必ずタンクの水を捨てて、次回は新しい水で加湿してください。

⚠️ ご注意

ご使用の際は、必ず加湿マットを取り付けてください。また、送風孔や空気吸込み口をふさがないようにしてください。

お手入れのしかた

汚れ具合によりますが、1～2週に1度、下記の要領でお手入れをしてください。また、シーズンオフには、必ずお手入れをしてから保管してください。

⚠️ ご注意

- お手入れをする前に、プラグは必ずコンセントから抜いてください。
- フタ（モーターファン、電源スイッチ）および電源コード／プラグは、絶対に水に浸けないでください。
- クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。

加湿マットのお手入れ

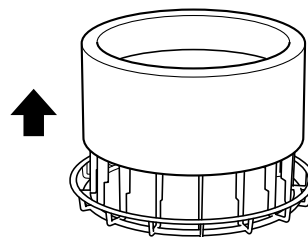
加湿マットに汚れ（水中の石灰分や鉄分、空気中のホコリ等）が付着すると吸水力が低下し、蒸発効果を損ないますので、お手入れが必要です。

⚠️ ご注意

毎日洗ったり（洗い過ぎ）、もんだり絞ったりすることは、絶対にお止めください。加湿マットの表面に塗布されたコットン（吸水材）がはがれ、吸水力が著しく低下します。

1 加湿マットを取り外す

加湿マットをマットホルダーから取り外します。



2 加湿マットを水洗いする

洗剤は使用せず、必ず水かぬるま湯で、静かに押し洗いしてください。

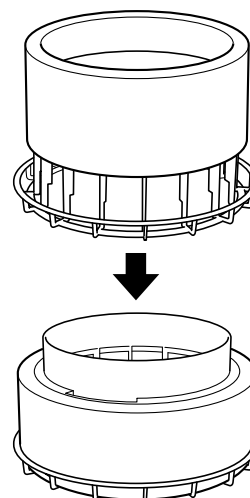
汚れや傷み具合によりますが、1シーズン（約3～4ヵ月）を目安に新品と交換してください。

※加湿マットのご購入は、4ページを参照してください。



3 加湿マットを取付ける

加湿マットをマットホルダーの底まで差し入れてください。



お手入れのしかた(続き)



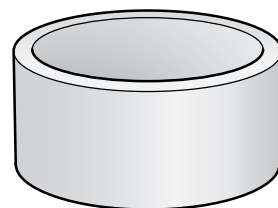
ヒント

加湿マットにカビが生えて、気になる場合

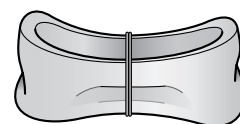
本製品はお部屋の空気を吸い込み、加湿された空気を放出します。ご家庭によってはお部屋内のカビ孢子が加湿マットに付着し、汚れる場合があります。

タンク部に水が入っている場合にはそのカビが放出されることはありませんが、加湿マットの汚れがひどく気になる場合は、次の方法でお手入れしてください。

- ①加湿マットをマットホルダーから取り外します。



- ②加湿マットを二つ折りにして輪ゴムで止めます。その後に深めの容器に入れます。



- ③熱湯をかけ、約5分間熱湯に浸します。
加湿マットの糊がはがれる恐れがありますので、加湿マットを入れた状態で煮立たせないでください。

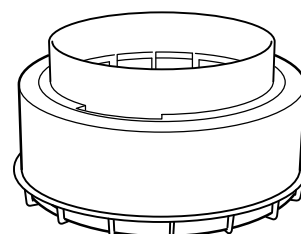
⚠️ ご注意

やけどにご注意ください。

- ④容器の熱湯を捨てます。この時、加湿マットは非常に熱くなっていますのでやけどにご注意ください。



- ⑤加湿マットが冷めたら、マットホルダーにセットします。



お手入れのしかた(続き)

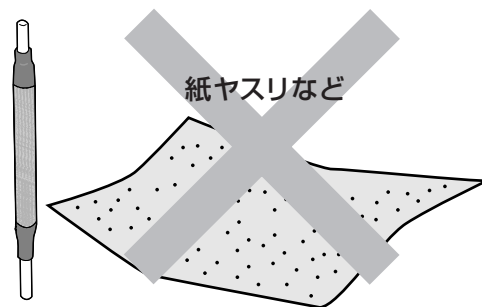
シルバースティック ➡➡➡ 水洗いできます

付着しているゴミやほこりなどは、水道水で洗い流してください。使っていきうちに銀の特性でメッシュ部分の銀が黒ずむ場合がありますが、性能に影響しません。

※シルバースティックの寿命(有効期間)は、使用環境により異なりますが、5～6年(目安)です。期間を過ぎた場合は、デロンギ・ジャパン サービスセンター(裏表紙参照)まで、新しいシルバースティック(別売品)をお求めください。

⚠ ご注意

こすると銀が剥がれますので、お止めください。

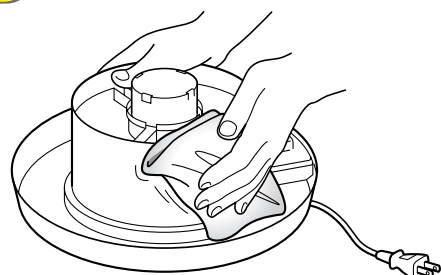


フタおよび電源コード／プラグのお手入れ ➡➡➡ 水洗いできません

水洗いしないでください。ほこり等の汚れは、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくい場合は、ぬるま湯に浸し、かたく絞ってから拭きます。

⚠ ご注意

送風孔や電源スイッチなどに水をたらさないでください。故障の原因になります。



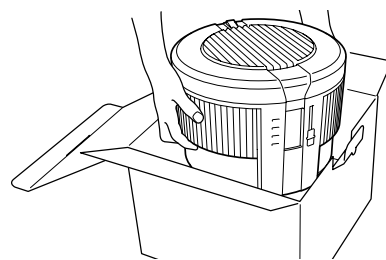
タンク部のお手入れ ➡➡➡ 水洗いできます

汚れは、台所用中性洗剤と柔らかいスポンジで水洗いしてください。



●保管のしかた

長期間使用しない場合は、お手入れをした後、よく乾かしてから保管してください。



仕様

製品名称／型式番号		ボネコ気化式加湿器／1359S
定格	電圧／周波数	AC-100V 50・60Hz
	消費電力	16W
適用畳数		～24畳
気化能力		約200～250mL
外形寸法／重さ		高さ233×直径315mm／2.5kg
タンク容量		4L
電源コードの長さ		1.9m
付属品		加湿マット×1(装着済み)、シルバースティック×1(装着済み)

1)使用中に電源スイッチを入れてもファンが回転しない、水が漏れるなどの問題が発生したときは、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。

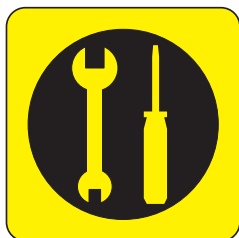
その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記)にご相談ください。

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況**——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。

3)保証期間中(3年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4)真心点検のお勧め：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。



ご購入年月日:

年

月

日

5)デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター▶ (受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30~18:00)

コールセンター

修理について Tel. 0120-804-280

Tel. 0120-692-885

お問い合わせ Tel. 0120-064-300 / Fax. 045-450-3291

Tel. 0120-692-880

● 横浜：〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

● 大阪：〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-21-25

ホームページでのお問い合わせ (URL) <http://www.delonghi.co.jp>



デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel.03-5256-6321 (代)